

優秀賞



渋沢栄一 と



令和6年度 根橋区
「図書館を使った
調べる学習コンクール」
小学校高学年の部

紙幣の歴史



金沢小学校 5年4組
福島 颯大

もくじ

0. はじめに	... 1~3
1. 紙幣とは	... 4~14
2. なぜデザインを変えるのか	... 15~19
3. 肖像画の歴史	... 20~23
4. 淡沢栄一について	... 24~31
5. ゆかりの地を訪ねる	... 32~35
6. まとめ	... 36~39
7. おまけ	... 40~41
8. 参考にしたもの	... 42
9. 資料など	... 別冊

0. はじめに

とつぜんですが、ここで問題頁です。みなさんは次の問いに答えられますか？

問題

次の会話を読んで、後の問いに答えなさい。

先生...2024年7月に一万円札などのデザインが変更になることは知っていますか。

生徒...はい、一万円札は約40年間、著書『学問のすすめ』で有名な<1>が肖像画として使われていましたが、淡沢栄一に変更になるというニュースをみました。

先生...半円札は野口英世から破傷風(※1)を予防・治療する方法を開発した北里柴三郎に変わります。

生徒...野口英世の伝記を読んで、命をかけて黄熱病(※2)の研究に取り組む姿に感動しました。

先生...野口英世は北里柴三郎が所長を務める北里研究所で研

究員をしていましたから、北里柴三郎の弟子だといえます。北里研究所は現在の北里大学につながります。

生徒...北里柴三郎は教育者でもあるんですね。一万円札の<1>も慶應義塾大学の創設者ですね。

先生...五千円札の肖像画も変更になります。誰から誰へ変更になるか、それぞれ何をした人か知っていますか。

生徒...五千円札は樋口一葉から津田梅子になります。樋口一葉は女性小説家で、代表作は『<2>』です。少壮少女の淡い恋を軸に子供たちの成長が描かれた作品でした。津田梅子は何をした人ですか。

先生...津田梅子は日本初の女子留学生の一人でした。留学期間に女子教育の重要性を感じ、後に学校を創設し、日本の女性

教育のために生涯を捧げました。当時、女学校に進学するのは裕福な家庭の女子達でしたが、津田梅子が創設した女子英学塾は、貧富の区別なく、学ぶ意欲があれば、誰もが等しく教育を受けることができました。女子英学塾は津田梅子につながります。

生徒...現在、多くの女性が社会で活躍しているのは津田梅子の功績が大きいですね。

先生...はい。紙幣の肖像画に用いられる人は、医療や教育など私達の生活を大きくよい方向に変えた人が採用されるようですね。

※1 破傷風...傷口から破傷風菌が入ってかかる病気。ひどくなると激しいけいれんが起こり、死ぬことも多い。

※2 黄熱病...蚊に刺されることによって感染する感染症。

問1 <1>にあてはまる人物名を記号で答えなさい。

ア 芥川龍之介 イ 夏目漱石
ウ 福沢諭吉 エ 川端康成

ア 破傷風を予防・治療する方法を開発した野口英世は、北里大学を創設した北里柴三郎の教えを受けた人物である。

イ 現在流通している一万円札の肖像画として用いられている淡沢栄一は、約40年前から紙幣の肖像画として使用されている。

問2 <2>にあてはまる作品名を記号で答えなさい。

ア 源氏物語 イ 枕草子
ウ たけくらべ エ みだれ髪

ウ 2024年7月から発行される五千円札は、女性初の職業小説家である樋口一葉が肖像画として用いられる予定である。

エ 津田梅子は、女性が学問を学ぶことがめづらしい時代に、女性の地位向上を自指して女子教育の推進に力を注いだ人物である。

問3 会話文の内容と照らし合わせて、正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

これは、今年、ある中学校の入試で出題された、お札に関連した問題頁です。[読売KODOMO新聞より]

政治や文学で活躍



日本の紙幣では、政治や文学、医療、教育などの分野で活躍した人物が肖像に選ばれます。選択肢の項目もチェックしてみましょう。

問1の夏目漱石は、野口英世の前に、千円札に選ばれた人です。明治時代に活躍した小説家で、「こころ」や「吾輩は猫である」など教科書にも採用されている作品を残しています。問2の「源氏物語」は、絵巻の一場面と作者の「紫式部」が2千円札の裏に描かれています。問3では、会話をききと読み込んで答えを導きましょう。

新しいお札の裏側もチェック！



東京駅丸の内駅舎
「赤レンガ駅舎」として親しまれてきた建築物
フジ(藤)
古事記にも登場する古くから愛される花
富嶽三十六景・神奈川沖浪裏
葛飾北斎の代表作で世界の芸術家に影響を与えた

う。アの野口英世は、破傷風ではなく黄熱病の研究者です。ちなみに、科学者として初めて日本の紙幣に選ばれました。

1万円札は要注目

最も高額な1万円札の肖像に選ばれる人は要注目です。1958年に最初の1万円札に選ばれたのは聖徳太子でした。

1984年に福沢諭吉に代わり、新紙幣では渋沢栄一になります。第一国立銀行(現在のみずほ銀行)など多くの企業の創設にたずさわったことから、「日本資本主義の父」と呼ばれます。

解答

問1 ウ 問2 ウ 問3 エ

2019年4月9日、財務省は5年後の2024年に紙幣のデザインを一新すると発表しました。当時5才だったぼくは10才になり、記念すべき「5年後の2024年」を一緒にむかえることができました。2024年7月3日、1万円札、5千円札、そして千円札の人物肖像画が入れかわり、新紙幣の発行が始まりました。入試問題に取り上げられたり、発行当日はニュースなどでもたくさん報道されたりして、子どもから大人までソワソワしているように感じました。

実際に新しいお札をさわってみると、ツルツルとした不思議な手ざわりで、ハッと見た感じオモチャのようだと思いました。

その時、ぼくの頭をよぎったのは、なぜ紙幣のデザインを変える必要があるのか、という疑問でした。そして、どのようにデザインを決めるのか、そもそも紙幣はいつから使われるようになったのか。

2

1万円札に栄えり用された

渋沢栄一はどんな人物なのか... など次々と疑問がふれ出しました。さらに、渋沢栄一が「ぼくの住んでいる地域(以前住んでいた北区、現在住んでいる板橋区)や祖父母の住んでいる埼玉県に深く関わりがあるらしい」という事実にもとても興味をもちました。

そこで、この疑問について調べてまとめることにしました。新紙幣発行に込められた「願い」が、これを読んだ人に伝われば良いな、と思います。

7月3日
埼玉新聞
4



渋沢って、埼玉らしい



くす玉を割って新1万円札発行を祝う小島進・埼玉県深谷市長(右から2人目)ら＝3日午前0時1分、同市の渋沢栄一記念館



板橋区
仲宿商店街
マンホール
4



渋沢栄一記念館
等身大パネル
意外と小柄
4

スタンプラリー
に参加
5

3



1. 紙幣とは

そもそも紙幣とは何なのでしょう。実は、正式には「日本銀行券」と呼ばれ、国立印刷局という所で製造されています。その歴史は古く、今から147年も前の、明治時代に第1号紙幣が発行されました。それ以降、最新の技術を取り入れながら、紙幣は発行されています。

では、第1号となるお札が登場する前は、どのように物のやり取りをしていたのでしょうか。表にまとめてみました。

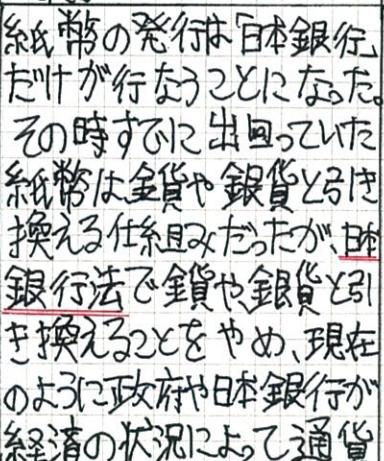
時	出来事	写真
古代	7世紀後半 物々交換で経済が成り立っていた。米や塩、布の代わりに登場したのが「富本銭(ふほんせん)」。国内初の金属のお金で、中国の銭貨をお手本にした。	
	708年~ 国内で初めて自然銅が発見され「和銅開珎(わどうかいちん)」が作られた。その後、12匁重類の銭貨が作られたが、国内の銅が不足すると再び米や絹などお金の代わりとして使われるようになった。	

4

時	出来事	写真
中世	平安時代後期~江戸時代初期 国内で発行されなくなったため、中国から軍輸入した「渡来銭(とらいせん)」が流行した。15世紀になると、個人が許可なく金貨を作るようになり、幕府が取り締まるようになった。16世紀には、銅ではなく金や銀が使われるようになり、有力な武将たちが勢力拡大のために用いるようになった。	 
近世	江戸時代 ふたたび国内発行のお金が登場すると、それまでバラバラであった貨幣制度が統一された。天下統一を果たした徳川家康は、大きや重さを揃えた大判、小判などの5種類の金銀貨を発行しました。続いて、三代将軍が銅銭寛永通寶(かんえいつうほう)を作り、三貨制度が確立した。	 

5

時	出来事	写真
近世	これらの三枚重類のお金を交換するため、両替商(りょうかえり)が発達した。江戸時代中期を過ぎると、貨幣の種類が増え、また地方では大名が発行した藩札や公家や寺社による私札といった紙幣も使われた。	 寛永通宝  藩札 (福井藩)
近代	明治時代 近代化を目指す明治新政府は、政府紙幣(せいへい)を発行した。さらに新しいお金の単位「円」をつけた。しかし偽札(にせざ)が多く出回ったため、ドイツの印刷会社に紙幣の製造を注文し、模範(もはん)も細かく色も美しい新紙幣(しんしへい)明治通宝札(めいしゅうほうざ)を発行した。またアメリカ合衆国の制度をまねて、全国に153の銀行をつけた。 明治9年には国内で初めて人物の肖像を入れた紙幣が製造された。	 明治通宝10円券

時	出来事	写真
近代	また、大阪に造幣局(そうへいきょく)を設置し、日本の伝統デザインを生かした貨幣が作られた。 しかし、西南戦争をきっかけに、通貨価値の安定をはかるため、統一したお金を発行する中央銀行として日本銀行を設立した。さらに戦争が激になると、戦地での物資調達や兵士の給与の支払いなどを賄うために、日本銀行とは別に政府発行の軍用紙幣も発行された。	 国立銀行5円券  日本銀行券第1号
現代	昭和17年(1942年) 紙幣の発行は日本銀行だけが行うことになった。その時すでに出回っていた紙幣は金貨や銀貨と引き換える仕組みだったが、銀行法で金貨や銀貨と引き換えることをやめ、現在のように政府や日本銀行が経済の状況によって通貨	 紙幣の発行

時	出来事	写真
現代	昭和20年 (1945年) の発行量を管理したり、調整したりするようになった。太平洋戦争が終ると、国内の物資が少なくなっていくのに、お金だけが増え、お金の価値が暴落したため、お金の単位を上げ、新しいお金が発行された。このことを「新円切り換え」と呼んでいる。古いお金は回収され、新しいお札が出回るまで、お札に「証紙(しょうし)」を貼った銀行券も流通した。	 藤原鎌足20円券
	昭和25年 (1950年) 昭和25年には新しい千円札が発行され、昭和28年には「銭(せん)」の単位がなくなった。その後、紙幣は糸の質、印刷技術の向上により偽造防止や、ユニバーサルデザインが優れたお札が発行された。また、貨幣は、明るく平和なデザインを取り入れている。	 証紙付紙幣

注1) 金かたくさんとした甲斐(かい/現在の山梨県)の武田信玄や豊臣秀吉など

注2) 次ページ以降でくわしく説明します。

注3) ここで活やくしたのが渋沢栄一

注4) 現在日本では、紙幣は国立印刷局で製造→日本銀行が発行、硬貨は造幣局で製造→日本政府が発行している。

注5) 全部で10の章から成り、平成9年(1997年)に全改正された。

こうして見てみると、お金とその時々のはたらきは深くかかわりを持っているということ、そして長い年月をかけてようやく2024年の発行にたどりついた、ということがよく分かりました。

多くの困難や失敗を乗り越えてたどりついた今回の新紙幣ですが、どんな所でどんな風に作られているのでしょうか。ここからは、東京都北区にある国立印刷局東京工場へ見学に行き、見てきたこと(紙幣が製造されるまでの様子など)を紹介していきたいと思います。



～お札ができるまで～

STEP 1

お札を作るのに必要な版面やインキを製造する。

原画をえがく

工芸官というデザインや彫刻をする専門の人が、お札のもとになる絵(原画)を筆や色鉛筆を使って、精密に描きます。



1mmの幅に11本の糸糸を入れられるくらいすごい技術を持っているので、すごいと思いました。

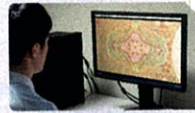
原版をほる

原画をもとに、ビュランという特殊な彫刻刀を使って、金属板に点や線を一本一本ほっていきます。



彩紋をえがく

お札の背景の細かい模様は、最新のコンピュータシステムでデザインします。



エドアルド・キヨッソーネ

(1833～1898)
Edoardo Chiossone

明治8(1875)年にイタリアから来日した銅版画師、紙幣家のお雇い外国人として、日本のお札や切手の近代化、技術者の育成に尽力しました。

An engraver who came to Japan from Italy in 1875. Hired as a foreign specialist of the Paper Money Bureau (Shihaiyo), dedicated himself to modernizing Japanese banknotes/stamps and training engineers.

明治政府は最初、ドイツの会社にお札の発行を注文していましたが、お金がかかるため、現地の技術を学んだエドアルド・キヨッソーネ氏(左)を日本に招いて自国の中で発行できるようにしました。当時、政府の役人でもお給料が30円ほどだったのに、エドアルドさんはその約25倍の750円支払われていたと聞いてとてもおどろきました。

このように昔からひみつがれている技術と、コンピュータを使。

10

版面をつくる

工芸官が彫刻した1枚の原版をもとに、たくさん印刷するための版面をつくります。強い圧力をかけて印刷するため、メッキをかけて丈夫にします。



た最新の技術とを組み合わせているのもすごいと思いました。

もう一つおどろいたのは、1枚ずつ印刷しているのではなく、20枚を1シートに印刷しているということです。小さいサイズで印刷するよりズレが少ないなどの理由があるそうです。同じ顔面がズラーとならんびいて少しおもしろいと感じました。



インキをつくる

独特な色合いと優れた機能をあわせ持った、お札を印刷するためのインキをつくります。



そして最後はインク作りです。お札のためだけに使われる特別なインクで、職人さんたちのこだわりを感じることができました。



特殊発光インキ

紫外線を当てると、表面の印字(日本銀行の「認紙之印」)や裏面の模様の一部が光ります。



パールインキ

お札を傾けると、お札の左右両端の中央部にピンク色の光沢が見えます。



工場内はよく特になにかが広がっていたよ!

11

STEP 2

お札を印刷するための「紙」をつくる



紙の材料であるパルプ（植物繊維）を細かく切ります。



細かく切ったパルプの繊維を大量の水の中で解きほぐします。



きれいな紙にするために、余計なものを取り除きます。



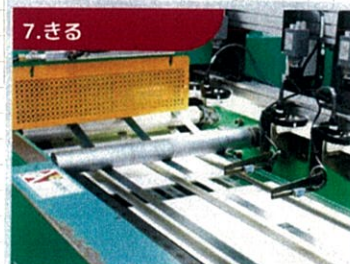
繊維の絡み合いが良いと強い紙になるため、さらに繊維を細かくすりつぶします。



薬品と混ぜ合わせ、紙のもととなる「紙料」ができます。



「紙料」を網の上に薄く流して、乾燥させて善き取ります。



善き取った紙を印刷する大きさに切り分けたら、紙は印刷する所へ運ばれます。



日本の紙幣の紙は、みつた・アバカ（マニラ麻）などを主に原料にして作られています。みつたは古くから和紙の原料として使われていて、独特な手ざわりと風合いがあることに加え、丈夫な紙を作ることができます。わざわざ紙幣のためだけに専用の紙を1から作ると知り、おどろきました。

12

STEP 3

いよいよ印刷のはいまり。印刷する部屋は さつ映が禁止

1F



裏・表の順番で図柄を印刷します。1枚の大きな紙に20枚のお札が印刷されます。

約15メートルもある大きな木製機械！



傾けることで色や模様に変化して見えるホログラムを貼り付けます。

千円札と1万円札、それぞれ別の木製機械で、しかりはがれないようにプレスしていく。ちなみに、5千円は小田原工場で印刷されている。

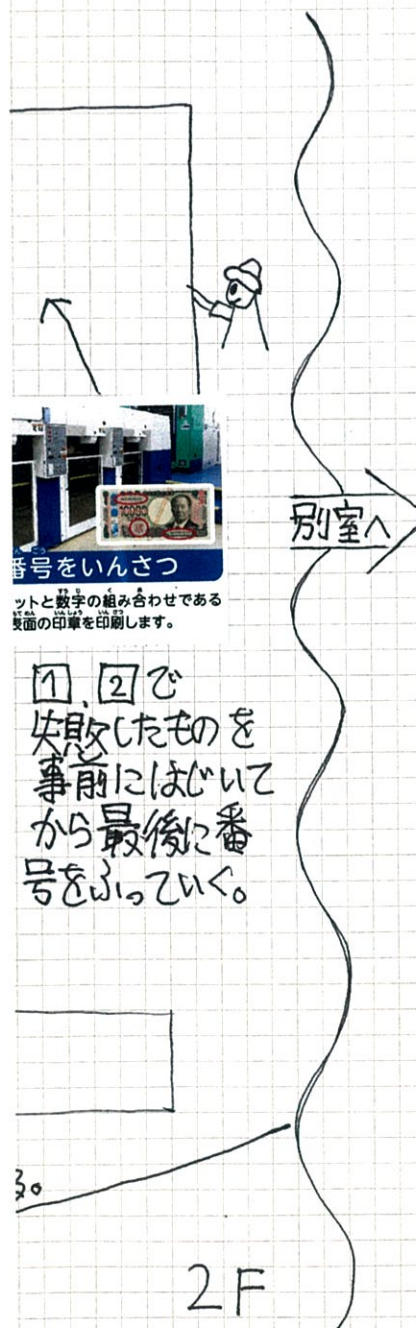


それぞれの工程が繰り返されるたびに、毎回しかり数の確認をする

13

かいとん

決めたため 図で紹介したいと思います。



4 きる
決められた1枚のサイズに正確に切り分けます。



5 けんさ・しあげ
機械で1枚ずつ検査し、1000枚ずつの束に仕上げます。



6 つつむ
フィルムでしっかりと包み、日本銀行に納めます。



7 日本銀行へ!
このように、国立印刷局ではみなさんが安心して暮らせる社会を、技術で支えています。

とにかく何回も何回もチェック
をして、ぼくたちの所まで届けら
れる!

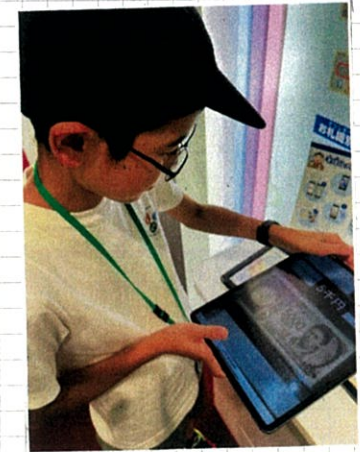
工場の中を見学して、おれができるまでの様子を見
せてもらったあとは、係の人の
話を聞いたり、展示コーナーを
見たりしました。

製造に使う道具や、人物招
介、年表などが展示されていま
した。

体験コーナーもありました。右の
写真は「1億円の重さ体験」で
予想以上に重くて、まるで2L
のペットボトルの箱を持っ
たかのような感じでした。



うおー!!



もう一つおもしろかったのはお札識
別アプリ「言う吉くん」です。左の
写真のように、カメラをお札にか
ざすと、お札の種類を音声と
字幕で教えてくれます。次ペ
ージ「なぜデザインを変えるのか」
でも詳しく書きますが、目や耳
が不自由な方でスムーズにお
札を使えるのは親切な機
能だなと思いました。



ふだんは見られない工場内部を
知れて楽しかったし、貴重な
体験ができてよかったです。
[資料ファイル: ①]

2. なぜデザインを変えるのか

①では、紙幣の起げんなどについてまとめましたが、なぜそのデザインを変える必要があるのでしょうか。ずっと同じデザインだとつまらないからなのでしょうか。新しくすることで、まるで新品のノートを使う時のようなうれしい気持ちになるからかもしれません。

しかし、本当の答えは、大きく分けて2つあります。

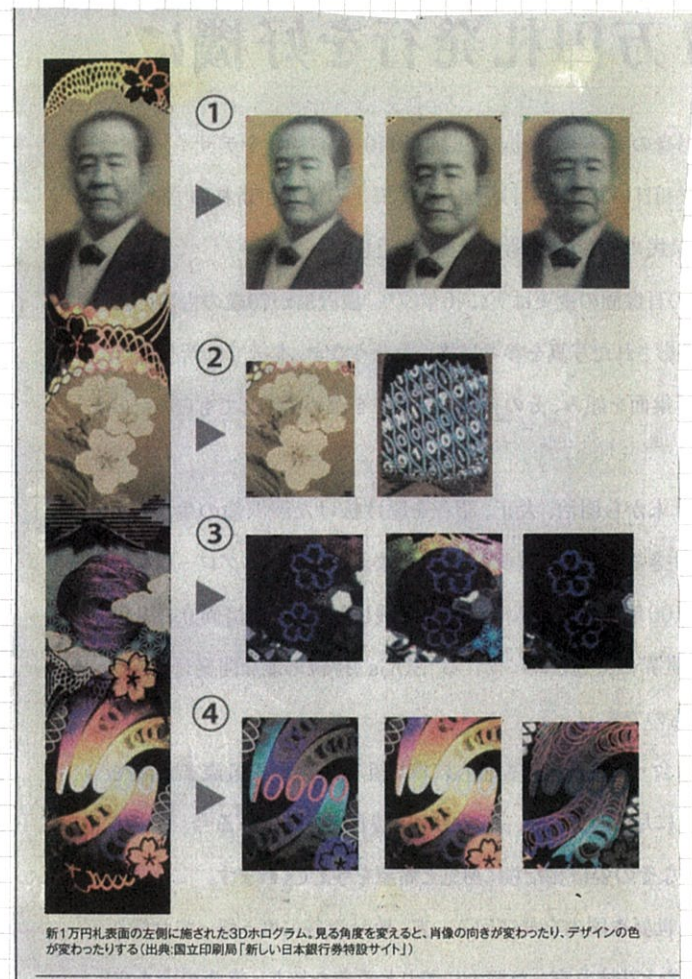
まず1つ目は偽造防止(ニセ札を作せないため)です。日本ではその時々最新の技術を使ってお札を印刷していますが、時がたてば、民間の印刷技術も進歩して、ニセ札が作られてしまう可能性が高まってしまいます。

そこで、簡単にまねして、作らせないための新しい技術を取り入れています。その技術について紹介したいと思います。

□3Dホログラム
かたむけると、肖像が立体的に浮かびあがります。この技術がお札に使われたのは世界初です。かたむけて変わるのは肖像の向きだけではありま



せん。なんと、周りにえがかれている文字やデザインの色も角度によってちがって見えるのです。これはふつうのコピー機で印刷しても全く同じようにはプリントアウトできません。とてもすごい技術だと思いましたか？どの角度から見ても肖像が追いかけてくるので、少しこわいなとも思いました。



新1万円札表面の左側に施された3Dホログラム。見る角度を変えると、肖像の向きが変わったり、デザインの色が変わったりする(出典:国立印刷局「新しい日本銀行券特設サイト」)

[埼玉新聞より]

② すかし

これは以前から使用されていた技術ですが、さらに糸田かい文字や糸泉がすかしとして使われています。ホログラムの技術と二段かまえてニセ札作りを防いでいるのです。



肖像の後ろに細かい線のすかしがある

そして2つ目は、たれでも使いやすいユニバーサルデザインです。外国の人や目の不自由な人でも分かるように、「見やすく」「さわってわかる」工夫があります。

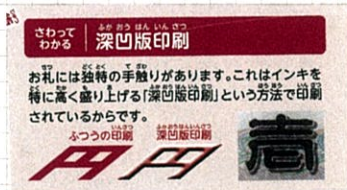


まず1番大きい客員面の表記を、漢字から数字に変えることで国籍に関係なくすぐに分かるデザインになりました。

次に、目の不自由な人がさわってちがいが分かるように、ザラザラした感触の「盲点」マークのはん困がなくなりました。これは、インクを高くもり上げる「深凹版印刷」という技術が用いられています。

ここで実際に手ではさるだけで本当にちがいが分かるのか実験をしてみました。新旧1枚ずつの紙幣を用意して、目

隠した状態で、どれかのお札なのかを当てる実験です。

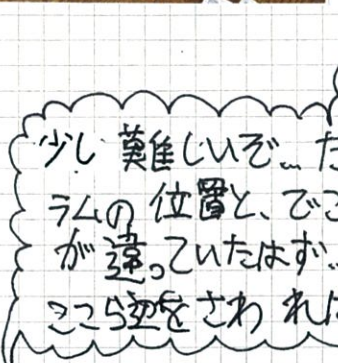


いざ挑戦!

17



新と旧を分けるのはそこまで難しいぞ... ツルツルしてて、どこがはつきりしているのが新しい方だな...



むむ... 新旧の同士は

少し難しいぞ... たしか、ホログラムの位置と、どこが場所が違っていたはず... そうすると... こころをさわれば...



実験結果&感想

- ・新と旧は、簡単に判別できたけど、新旧の同士は盲点別マークの位置を理解していないと分からないと思った。
- ・旧札同士の判別はさわるだけではかなり難しい。

→ ユニバーサルデザインに関して最初にはよく分からなかったけど、体感することによって困っている人への配慮を矢張り知ることができた。

では、こういった技術がまだなかった、もっと昔はどのようにしてニセ札作りを防いでいたのでしょうか。江戸時代に使用されていた藩札を見ると、様々な工夫をみつけることができます。

18

例えば、愛知県にあった尾張名古屋藩の藩札に光を当てると「尾州」のすかしが浮かびました。藩札の木材料の和紙は、柔らかくほぐした木植物のせんいをさるのような道具に流しこんで作ります。その道具に模様などの型を糸通し付けておくとその部分の糸が薄くなって、光が通るすかしになります。(右図参照)

さらに現在の福岡県にあった筑後木戸川藩の藩札を拡大してみると、模様の中には「ナカカ」「ハナ」の文字が隠されていました。



新しい1万円札にも拡大しないと読めない文字で「NIPPON GINKO」ニッポン 金庫と書かれています。これをカラーコピーすると文字がつぶ

れてしまうから偽造だと見とれるのです。



二セ札を作られないようにもう一つ大事なことは、「製造方法を外音にもらさないこと」でこの約束を破って重たいはつを受けた人もいます。

↑偽造防止のため色をつけた藩札

19

3. 肖像画の歴史

つづいて、紙幣に起用される肖像(やデザイン)の歴史を見ていきたいと思います。まず、お札に肖像が使用されるようになった主な理由は、偽造防止と親近感をもってもらうため、などがあります。人の顔が印刷されていることで画像がずれていたりぼけていると違和感を持ち、偽造防止効果があるのと、著名な人物を起用することで、銀行券自体の認識を深める効果があるようです。つまり肖像にえらばれる人物は、1) なるべく実在の人物であること 2) 業績があり、知名度も高く親しみやすいこと 3) 日本を代表するような人物であること 4) なるべく鮮明な写真が残っていること、などの基準をクリアしておくといけません。ちなみに、紙幣のデザインは、財務省・日本銀行・国立印刷所の人たちが何回も話し合いをして決定していきます。

では、1942年に日本銀行が銀行券を発行し始めてから、どのような人物が起用されたのか時系列にそってまとめてみました。

発行年	紙幣	肖像画
1942年	5円券	菅原道真
1943年	1円券	武内宿禰
	10円券	和氣清麻呂
	35円券	菅原道真
1944年	100円券	聖徳太子



菅原道真*



武内宿禰

20



和氣清麻呂*



聖徳太子*

1945年	10円券	和気清麻呂
	100円券	聖徳太子
1946年	1円券	二宮尊徳
	100円券	聖徳太子
1950年	1000円券	聖徳太子
1951年	50円券	高橋是清
	500円券	岩倉具視
1953年	100円券	板垣退助
1957年	5000円券	聖徳太子
1958年	10000円券	聖徳太子
1963年	1000円券	伊藤博文
1969年	500円券	岩倉具視
1984年	1000円券	夏目漱石
	5000円券	新渡戸稲造
	10000円券	福沢諭吉
2000年	2000円券	紫式部
2004年	1000円券	野口英世
	5000円券	樋口一葉
2024年	1000円券	北里柴三郎
	5000円券	津田梅子
	10000円券	渋沢栄一



にのみやしんとく
二宮尊徳



たかはし いせい
高橋是清



いわくらのとみ
岩倉具視*



いたがきたいすけ
板垣退助*



いとう ひろぶみ
伊藤博文



なつめ そうせき
夏目漱石



くにくいだ だっぽ
新渡戸稲造



ふくざわ ゆきお
福沢諭吉*



いのくぼ えいち
野口英世



ひぐち いわお
樋口一葉

21



きたむら ただやす
北里柴三郎



うめもと たみこ
津田梅子



しぶさわ えいち
渋沢栄一

最も多く登場したのは、聖徳太子で5回も登場しています。十七条憲法を制定したり、仏教を保護したり、と数多くの業績を残しており、知名度も高い、というのが理由のようです。(右図)



おじいちゃんの家で古いお札を見せてもらいました。どのお札も見たことのないものがあり、よくも今のお札を取っておきたい

と思いました。また、見たことのないお札を実際に見れてうれしかったです。(左上図)

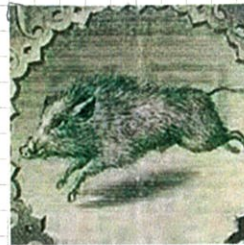
また、女性で初めて肖像に選ばれたのは、樋口一葉で、銀行券が発行されるようになって約60年経ってからのことです。この背景には「女性は男性より劣っている」という考えが国内にあったということを知り、少し悲しい気持ちになりました。今回、津田梅子から千円の肖像に選ばれたことひますます男女は平等である考え方が広まっていくといいなと思いました。

22

人物以外にも、紙幣には多くの動物たちも登場してきました。日本銀行券が発行されて以降、8種類の動物が登場しました。



「高十番」
ねずみ(旧十円券)



いのしし(旧十円券)



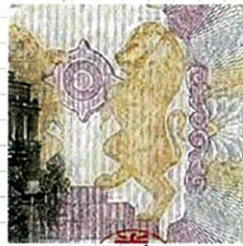
うま (旧五銭券)



にわとり(A一円券)



はと (A十銭券)



らいおん(C五千円券)



きじ (D一万円券)



つる (D千円券)



ほうおう(三十円券)

身近な動物が多いと感じましたが、ライオンだけちょっと雰囲気が違うような...あと、鳥が多い...ぼんやりした魚は選ばれないのかなあ...ほくものってみたい!!

23



↑わが家の人活版

4. 渋沢栄一について

では、1万円札に選ばれた渋沢栄一とはどんな人物なのか。「近代経済の父」と呼ばれていた、ということはニュースなどで聞いた矢張りでしたが、実はそれ以外のことは全く知りませんでした。そこでまず、彼の功績や主な出来事を簡単に表にまとめてみました。

時(年齢)	出来事
1840年(0才)	渋沢栄一 誕生
1858年(18才)	渋沢栄一 結婚
1863年(23才)	攘夷の計画を立てるか中断、京都へ逃げる。(攘夷とは、外国人を追いはらおうという考え。)
1864年(24才)	一橋家の家来になる。
1867年(27才)	万国博覧会に参加。
1868年(28才)	太政奉還により、江戸幕府が終わる。明治時代が始まり、民部省改正掛として活やく。
1872年(32才)	政府をやり、民間の立場でビジネスを始める。「合本主義」の考えの下で銀行だけでなく、金銭道やガス、ホテルや教育など、500にも及ぶ会社の立ち上げにかかわる。
1908年(68才)	「論語と算盤」を刊行
1923年(83才)	関東大震災発生。復興のため活やく。
1927年(87才)	日本国際児童親善会 創立
1931年(91才)	永眠

※ 世の中のためになることを集めて会社を作る、
24 目的に、それに賛成する人からお金という考え方

この表にまとめたものは、ほんの一部です。ぼくが最初に感じたのは「すごい」ということです。それ以外の言葉では言い表せません。何が「すごい」のかというと、まず第16代将軍徳川慶喜と知り合いた、ということ。近代経済の父などと呼ばれているので、最近の人のように思っていたので、明治時代かはいま前に生まれたと知り、おどろきました。次に、とにかくたくさん業績を残している、ということです。政府(幕府)にいた時から、多くの新しい仕組みを考え、政府を去ったあとまで数々の会社を生み出してすごいです。

渋沢栄一 91年の生涯

1840(天保11)年	旧暦2月13日、武蔵国榛沢郡血洗島村(現在の埼玉県深谷市)に生まれる
1858(安政5)年	いとこで学問の師、尾高惇忠の妹の千代と結婚
1863(文久3)年	高崎城乗っ取り、横浜外人商館焼き討ちを企てるが、計画を中止。いとこで同志の渋沢喜作と京都に出奔
1864(元治元)年	一橋家に仕える
1866(慶応2)年	徳川慶喜、徳川宗家を相続。渋沢は幕臣に
1867(慶応3)年	徳川昭武に従ってフランスへ。パリ万国博覧会などを視察、欧州各国を巡る
1868(明治元)年	明治維新によりフランスから帰国
1869(明治2)年	駿府藩(後に静岡藩)に商法会所を設立(1月)
1870(明治3)年	明治政府に仕え、民部省租税正と改正掛長に(11月)
1872(明治5)年	官営富岡製糸場設置に向け、事務主任に
1873(明治6)年	大蔵少輔事務取扱に 抄紙会社(後の王子製紙)創立(2月) 大蔵省を辞める(5月)
1876(明治9)年	第一国立銀行創立、総監役に(7月)
1878(明治11)年	東京府養育院事務長に(のちに院長)
1879(明治12)年	東京商法会議所創立、会頭に(のちに東京商業会議所会頭)
1882(明治15)年	飛鳥山の邸宅にグラント元米国大統領を招待
1884(明治17)年	妻の千代死去
1885(明治18)年	日本鉄道会社理事委員(のちに取締役) 日本郵船会社創立(のちに取締役)、東京瓦斯会社創立(のちに取締役会長)



東京逓信局

商工業者の団体や株式取引所をつくる

長い商戦で敗戦に立ち遅れた日本の力を強くするために、外国との貿易を盛んにしたい。不平等条約も改正したい。そのために商工業者たちの団体をつくらなければならぬ。明治政府の伊藤博文と大隈重信から、こんな相談を受けた栄一は、1878(明治11)年、鉄米の商業会議所スタイルを取り入れた東京商法会議所(現在の東京商工会議所)を創設し、会頭に就任しました。また同年、東京株式取引所(現在の東京証券取引所)もスタートさせています。株主76人、職員14人と小規模ながら、日本で初めての証券取引所が誕生しました。

造船

財閥系ではない企業
の支援も必要
▶経営のアドバイスを
しよう!!



東京石川島造船所
(現在のIHI)

石川島造船所は平野嘉二が個人で設立した会社。平野が第一銀行に融資を頼んだことを縁に、栄一は経営のアドバイスを続けた。株式会社東京石川島造船所と改称された1893(明治26)年には、造船を受けた第一が取組役会に就任しました。

ホテル

外国の偉い人をもてなす
施設がない...
▶ホテルをつくらう!!



帝国ホテル

1887(明治20)年、栄一は大倉喜八郎と組んでホテルの経営を譲渡した。1890(明治23)年、東京に帝国ホテルの前身、1893(明治26)年、第一が取組役会となり、開業から19年にわたり経営を担いました。

鉄道

欧州では鉄道が人や物を一度に
たくさん運んでいた...
▶鉄道こそ経済発展に欠かせないアイテムだ!!



日本鉄道会社
(現在のJR東日本)

1881(明治14)年に創設された日本鉄道(現:3年間の株式経営で第一を理事委員に選出。1900(明治33)年に取締役会に就任しました。

ガス

東京府から瓦斯局が
払い下げに
▶民間の方でガス会社を
経営しよう!!



東京瓦斯会社
(現在の東京ガス)

1885(明治18)年に東京府から瓦斯局が払い下げになると、第一と池田第一が中心となって東京瓦斯会社を設立しました。

紡績

絹織物で紡績業を盛らした山田丈夫を支えに、
1882(明治15)年、大蔵省を辞めた栄一は、その縁で
合併して、世界最大規模の紡績会社に誕生しました。

絹織物の輸入が増えている
▶国内で紡績(糸をつくる)会社
をつくらう!!



大阪紡績一東洋紡績
(現在の東洋紡)

銀行

第一国立銀行

1873(明治6)年に開業。計画段階では1軒の
支店(高尾)をたくわえた大蔵省にだけ参加する
予定だったが、第一は自分が大蔵省時代につ
くった会社づくりのマニュアルをもとに会社組織
を主張。大蔵省と一般の民衆を合わせた形で
の公益性の高い銀行が生まれました。

保険

東京海上保険会社

(現在の東京海上日動火災保険)



東京海上保険
(東京海上日動火災保険)

海運や貿易が盛んになるにつれて、海上輸送のリスクをカ
バーする損害保険の重要性を感じた第一は、さまざまな
人を招き、1870(明治12)年、華族や財界人200人未
名前を連ねる東京海上保険株式会社の創立にこぎつけた。
取締役の権限や責任などが明記された100条を超える光
栄定款(会社など組織のあり方を定める基本ルール)を持
つ、本格的な株式会社となりました。

製紙

抄紙会社

(現在の王子製紙)



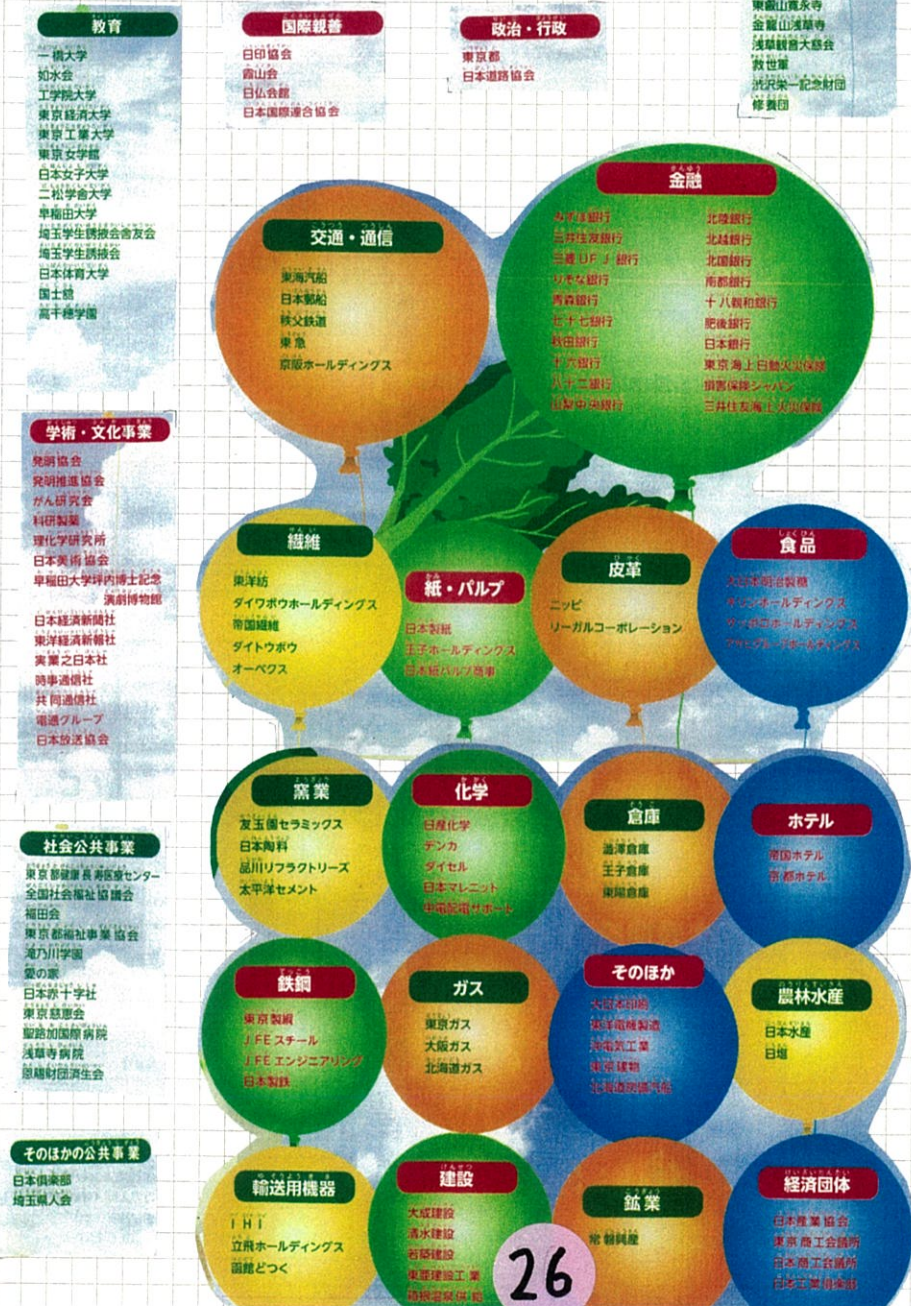
▲明治に開かれた「古くからある、製紙山、産業工場の歴史が
残る(東京ガス「ガスミュージアム」)」

フランスでの体験から、これからは紙幣や封筒などに
使う洋紙が大量に必要と考えていた第一は、輸入に頼
らず国内で洋紙を製造するため、1873(明治6)年、
大蔵省と一般株主の合本組織による抄紙「会社」を東京
飛鳥山に創設。第一はその運営を担います。技術の向
上には時間がかかり、10年がかりでようやく経営を軌
道に乗せることができました。

※抄紙とは紙をつくること

1887(明治20)年	日本煉瓦製造会社創立・理事(10月)
1888(明治21)年	東京ホテル(のちの帝国ホテル)創立・ 理事長
1890(明治23)年	札幌麦酒会社創立・発起人総代(のちに 取締役会長)
1894(明治27)年	貴族院議員に任ぜられる。翌年辞任
1900(明治33)年	東京海上保険株式会社取締役 男爵を授けられる
1901(明治34)年	日本女子大学開校。会計監督に(のち に校長)
1902(明治35)年	欧米視察。ルーズベルト大統領と会見
1906(明治39)年	東京電力株式会社創立・取締役
1907(明治40)年	帝國劇場株式会社創立・取締役会長
1909(明治42)年	古希(70歳)を機に多くの企業・団体の 役員を辞任。以降は公益事業に活動の 力点を移す。渡米実業団を組織し団長 として渡米。タフト大統領と会見
1914(大正3)年	日中経済界の提携のため中国訪問
1916(大正5)年	日米関係委員会創立・常務委員
1917(大正6)年	第一銀行の頭取などを辞め、実業界を 引退
1917(大正6)年	「論語と算盤」刊行
1918(大正7)年	日米協会創立・名誉副会長
1919(大正8)年	渋沢栄一著「徳川慶喜公伝」刊行
1920(大正9)年	財団法人協同会創立・副会長
1921(大正10)年	子爵を授けられる
1923(大正12)年	ワシントン軍縮会議実況視察のため渡 米
1927(昭和2)年	関東大震災被災者救護と復興のため、 大震災善後会創立。副会長に
1927(昭和2)年	日本国際児童親善会創立・会長。日米 親善人形歓迎会を主催。米国から贈ら れた善人形を受け入れ、日本から 11月11日、永眠。91歳

その会社のほとんどが、今も残っています。テレビや広告などで耳にしたことのある会社が多く、「これも栄一のかかった会社なんだ」とおどろかされます。



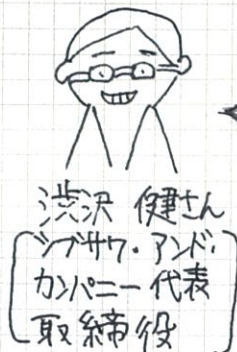
それから、83才の時に関東大震災が発生し、自分も被害を受けたのに、苦しんでいる人のためにすぐ行動を起した。日本とアメリカが仲良くできるようにと、国際親善会を87才の時に創ったこと、ととくなる直前まで活動を続けたのがすごいです。



日米親善のため、米国から日本の子どもたちに贈られた「青い目の人形」を持つ赤松栄一（1927年3月3日）（「赤松栄一伝記資料」別巻10P21）

【埼玉新聞より】
このように、「すごい」のかたまりのような人物なので、肖像として選ばれる基準はすべてクリアしていて、1万円札に起用されたのは、納得できます。しかし、実はそれ以外にも選ばれる理由があったのです。7月3日に開催された、トークショー（ほくは、学術交かあって残念ながら参加できなかったのですが、お母さんが代わりに参加しました。）の内容を簡単に紹介したいと思います。

【資料ファイル：②】



- 今回の人選は「SDGs」(持続可能な発展)を意識している。
- 「論語と算盤」でも書いている通り、発展と経済は道德なしではありえない。→ 渋沢栄一が選ばれたのは、未来を切り拓くためである。
- 忠恕の心(孔子が「論語」の中で唱えた「思いやりの心」)が大切。

- 銀行とは川である。雨が1滴1滴集まり大河となる。
- 「利己」ではなく「利他」、思いやりの心を持って仕事に取り組む



福岡 聡さん
[埼玉りそな銀行代表取締役]



杉田 一彦さん
[大日印刷常務執行役員]

- 会社の寿命は「30年」と言われているが、経営者の努力でなんとでもなる。持っている技術等をいかにかき活用していか常に考える。

- 「当たり前」が失われた時、どうしたら良いかまで考える。今までにとられすぎず、新しいアイデアを積極的に取り入れてみる。



小西 雅子さん
[東京ガス常務執行役員]



- 孔子の教えを引きついで渋沢栄一。これから私たちがその教えを引きついでいく番。
- 「作って、使って、捨てる」からどのように脱出していくか。
- 今までは「made in」「made by」だったが、これからは「made with」の時代。

この話をお母さんから聞いた時、紙幣のデザインとSDGsがどう関係しているのかちょっとよく分からなかった。最近よく耳にするようになったSDGsという言葉ですが主に環境を守る時に使われると思っていたからです。でも実際に調べてみると、以下のように、SDGsとは「私たちが直面するグローバルな諸問題の解決を目指す」となっていて、様々な分野で困っている人々を助けようとした渋沢栄一の考え方とそっくりだと感じました。



「学習まんが人物館 渋沢栄一」の中で、栄一が「日本は今、豊かですか？ 貧しい人はいますか？ もしいるとして、その人々をみんなで助けようとしていますか？」とたずねるシーンがあります。（もちろんこのセリフは栄一本人のものでなく、作者の言葉ですが）ぼくはすぐに答えることができませんでした。ニュースや新聞などで、「貧富の差が広がっている」と聞いたことがあるし、「生活に困って店の物をぬすんだ」という事件も見たことがあります。日本の外でもまだ戦争をしている国があり、多くの人々が毎日亡くなっています。栄一がこの状況を知ったら、きっととても悲しくむだろーと思います。トークショーの中で渋沢健さんが「栄一は未来を切り拓くために戻ってきた（選ばれた）」と言っていたように、1人1人が協力して困っている人々を助けられると良いな、と感じました。

これ以外にぼくが興味をもったのは孔子の教えと「made with」の考え方です。



栄一が子供の頃から夢中になっていたという「論語」ですが、書いてあることのほとんどが難しく、今のぼくには言売みきれないものでした。が、「忠恕の心」が大切だ、という部分はちゃんと理解できます。ぼくは本を言売むのが少し苦手で、国語の問題を解決するのも苦手なのですが、栄一のように読書が趣味になるよう、毎日少しずつ本を言売んでいこうと思います。

そして「made with」の考え方ですか、



made in
「ある場所」で作られた



made by
「ある人」によって作られた



made with
「一緒に作っている」

例えば、困っている（貧しい）人々を助けるために、困っていない（お金を持っている）人々がお金だけ渡しても根本的な解決にはなりません。お金があるちは良いかもしれませんが、自分でなんとかする方法を知らない、結局同じことのくり返しになるからです。会社などでも同じことが考えられます。ある大企業や会社から人気のある商品やサービスを、自分たちの国で、自分たち社員の手だけで作っているとして、利益を受けるのはその会社で働いている人たちだけとなります。これからは、国などの境界をこえて、技術や知識をシェアしながら、一緒に仕事をする中で、困っていた人たちが自分たちの力で豊かになっていく、という考え方はすごくみ力的だし、例えば、ぼくの通う小学校でも活用できると思います。何でも1人の子がやっとう、先生に全部おねがいしてしまうのではなく、できる子ができない子に「やり方を教えてあげる」、困っている子がいたら「一緒に問題を解決していく」など。

お母さんの話を聞くだけでなく、もし同じようなチャンスがあったら、次はぜひ自分の耳で直接話を聞いてみたいです。

5. ゆかりの地を訪ねる

渋沢栄一をさらに知るために、まずは埼玉県深谷市にある旧渋沢邸、渋沢栄一記念食官、そして東京都北区にある本邸の見学に行きました。そこで学んだことについてまとめていきたいと思います。

■旧渋沢邸〔資料ファイル：③〕

渋沢栄一（以下「栄一」）の生まれ育った家は、今でも旧渋沢邸「中の家（なかんち）」と呼ばれ、埼玉県深谷市に現存します。（耐震性に問題があったため、改修工事がされておりあります。）

この家の周辺には「渋沢さんのお家がたくさんあったため、真ん中に位置する栄一の家を「中の家（なかんち）」と呼んでいたようです。農業を中心に藍玉づくりやよう蚕をして、比かく的ゆう福でした。（藍玉とは、藍

植物）の葉を発酵させて作った染料のこと。）

ぼくは「中の家（なかんち）」の主屋に入りました。中は広く、和室でした。入って左に出るとアンドロイド・シアターがやっていました。栄一がどんなことをしてきたか分かりました。二階は、栄一の家系図や大河ドラマのせりふなどが展示していて、栄一の関係人物がいっぱいいてビックリしました。



32

小さな頃から父の仕事を手作り、また親せき（尾高惇忠）から論語を学んでいたことが、栄一のその後の人生に影響を与えたのだと思います。たとえば、栄一が22才の時、藍玉の出来をすもうの番付（ランキング表のようなもの）をまねて一らんにしました。こうすることで、各農家が知恵をばって上を目指し、最終的に村全体の藍玉の質がよくなっていくと考えたからだそうです。この時から栄一は「全体の利益」を考えていたと矢張りすごいと思いました。



■渋沢栄一記念食官〔資料ファイル：④〕

「中の家」から歩いて10分ほどの所にあり、栄一の年表や資料を見たり、アンドロイドによる講義を聞いたりできます。



33



まあたきなとまるで本当に生きているかのように動いていました。

■飛鳥山 渋沢邸 [資料写真: ⑤]
 東京都北区にある飛鳥山公園の一部 (下図マップの赤い点線内) は渋沢栄一の本邸があった場所です。空襲により、ほとんどが焼きたおされてしまいましたが、「晩香廬」と「青洲文庫」の2つは今でも



[北区飛鳥山HP紹介]

34



残っています。小さい頃からよく遊びに来ていた飛鳥山公園ですが、地図(前ページ)の赤い点線部分で囲まれた部分が全部 栄一のしき地だったと知り、とてもおどろきました。ぼくは、公園の高い所から電車が走るのを見るのが好きなのですが、栄一が生きていた頃は、どんな景色が広がっていたのかを想像になります。



5枚頃の私
 在来線だけ
 なく、新幹線も
 見られるのが好き



休みの日には、「紙すき」体験ができる。

35



6. まとめ

「なぜお札のデザインを変える必要があるのだろう？」

そんな素朴な疑問から始まった今回の取り組みでしたが、こんなにたくさんの方々と調べて学ぶことになるとは思っていませんでした。

紙幣の歴史を調べる中で、今のような紙のお金が登場する前は金属の硬貨しかなかったこと、統一された制度が出来るまでに様々な試行があったこと、今では当たり前前の銀行は渋沢栄一が生み出したということ、など、知らなかったことを知ることができました。

国立印刷局では、貴重な体験の連続でした。見学に行って、お札への親近感が生まれました。働いている人たちのこだわりを知ることができたのも良かったです。今ならお札博士になれるような気がします。

前巻の歴史で今回は渋沢栄一に注目しましたが、津田梅子や北里柴三郎、今までに選ばれた人たちのことももっと調べてみたいと思いました。特に福沢諭吉は、渋沢栄一とも面識があり、身分制度の厳しかった時代に「平等」をとらえた人物で、とても興味があります。

そして渋沢栄一という人物を調べるのはおもしろいこと

ばかりでした。まさかSDGsについても調べることになるとは予想していませんでした。限られた人が得をするのではなく、全ての人か恩恵を受けることの出来る世界を実現するには、まずは「思いやり」なんだということを実感しました。



ただ、1つ感じたのは、栄一について知るには、もっと歴史の知識がないといけない、ということです。今回の取り組みでは江戸から明治の中のほんの一部しか見ていないので、これをきっかけに歴史の勉強も始めてみたいと思います。その後もう1度、ゆかりの地やスタンプラリー各戸所に足を運んでみたいです。

調べていく中で残念だと思ったのは、今回が最後のデザイン変更になるかもしれない、ということです。なぜなら、お金の「キャッシュレス化」がすすんでいるからです。（「キャッシュレス化」＝現金以外の電子マネーなどで支払う方法）いつか完全にキャッシュレス化した時代がくるかもしれない、と聞いて、ぼくは嫌だなと感じました。理由は3つあります。まず、すごい技術を持っているのに使わなくなるのはもったいないからです。

現金いらす 券売機導入

新しい券売機を導入する
ならは、いっそのうちキャッシュレス専用の券売機にしてしまおうというお店もあります。

ラーメン店などを経営する
会社「アデッサ」（東京都中央区）は、昨年夏、うちから券売機をキャッシュレス専用にするに替えています。東京・大手町の「銀座」では、お客さんはこの券売機にス

バーコード決済で食券を買う人（東京都千代田区の新大塚）

マホ面（面）のバーコードをかざしたり、クレジットカードを使ったりして食券を購入しています。

店長の岡田さんは「この辺りは、元々キャッシュレス決済を使うサラリーマンが多く、戸惑うお客さんはいません。以前は、閉店後に現金を集計する時間が必要でしたが、その作業がなくなっただけで、人件費の削減にもつながりました」と話していました。

読み取る機械 対応まちまち

※日本自動販売システム機械工業会による、6月末の調査結果

各業界の機械の対応状況	対応状況
スーパーやコンビニのレジ	8~9割
公共交通機関の券売機	8~9割
コインパーキングの精算機	5割程度
飲み物の自動販売機	2~3割

紙幣が新しくなると、それを読み取る機械も新しくする必要があります。今回は、2019年に紙幣のデザインを新しくすることが発表され、券売機や精算機を作るメーカーは、対応する機械の開発を進めてきました。

券売機をつくるエルコムでは、昨年夏ごろから新紙幣に対応した機械の販売を始めました。現在は、注文が殺到して、新しい券売機を購入しようとしても3か月~半年待ちだそう。お札を識別するセンサー部分だけを交換する場合でも2~3か月待ちの状態だといいます。

上の図にあるように、新しいお札への対応状況には違いがあり、しばらくは新しいお札を使えない所もあります。



イギリス 新紙幣 出回るまで時間

イギリスでは6月5日、新紙幣の発行が始まりました。でも、発行するイギリスのイングランド銀行は「一般の人が新紙幣を目にするようになるにはかなり時間がかかる」と話します。いよいよ「デジタル」が



アメリカの初代大統領ジョージ・ワシントン、インドの「独立の父」マハトマ・ガンジー……。世界で発行されているお札の多くは、その国を象徴するリーダーたちの顔がデザインされています。イギリスでは、現金よりもクレジットカードなどを使うキャッシュレスの支払いが広がり、現金を使う人が減っています。そのため、新たにたくさん刷らず、「破れて使えなくなった」といった時だけ印刷されます。多くの国民はしばらくの間、新しいお札を見かけることはありません。

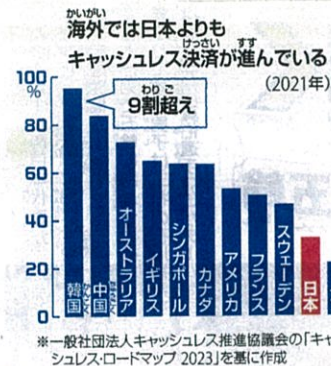
せっかく使ったお札も、右記事のようにその国の人たちが使わないのは残念です。

これからもっとすごい技術が生み出れるかもしれない

し、お札はなくなってしまう。

次に、ほとんどのようにまだキャッシュレスの機械に対応できるスマホなどを持っていない人が困るからです。おこづかいをもらう時も、「今月のおこづかい、〇〇のスマホに送っておいたよ〜」というやり取りをするのは、なんだかさみしい気持ちになります。

そして最後は、災害が起きた時などの停電やシステムトラブルが起きた時に、全く使えなくなってしまうからです。確かに便利な点も多く、キャッシュレスにすることでメリットも多いのかもしれませんが、現金のメリットもたくさんあるので、完全にキャッシュレス化してほしくないな、と思います。



キャッシュレス 海外で先行

海外では、日本よりもキャッシュレスの支払いがずっと進んでいます。韓国は9割以上、そのほかの国でも4〜6割の買い物で現金は使われていません。スウェーデンでは、デンマークでは「現金お断り」を掲げる店が示す店があります。中国では、通貨をデジタル人民元（デジタル人民幣）がデジタル人民元（デジタル人民幣）を基に発行するなどして、現金でキャッシュレスの取り組みを進めています。

キャッシュレス関連記事はすべて読売Kodomo新聞より

「〇. はじめにでも書きましたが、今回の紙幣のデザイン変更には、色々な人の様々な願いが込められています。製造に携わっている人たちの「誰でも安心して使えるお札を作りたい」という願い。差別のない社会で女性の立場にもっと目を向けてほしい、という人選に関わった人たちの願い。そして「個ではなく 全体の利益」を目指した菅野栄一の願い、など。多くはこれからお札を使う時、必ずこの願いを思い出していきます。また、菅野栄一のように、子どもの中から勉強の励み、自分を超えることを考え、いつかお札の肖像に選ばれるような人になりたいです。

7. おまけ [資料ファイル: ⑥]

ぼくは今おこづかいをもらっています。ほしいゲームソフトがあるのがかんはうてためていますか、時々おかしや本が欲しくなる時があります。ためたおこづかいを使うという時もあります。子どものぼくは、親や親せきの人からお金をもらう以外に、お金をひやす方法はないと思っていました。しかし、浅沢栄一やお金について調べていく中で、1つおもしろい方法を見つけました。それは、「フリーマーケット」です。もう使わないおもちゃや、もったけど自分では使わないものを、必要なく買ってもらう、というのは、ゴミの

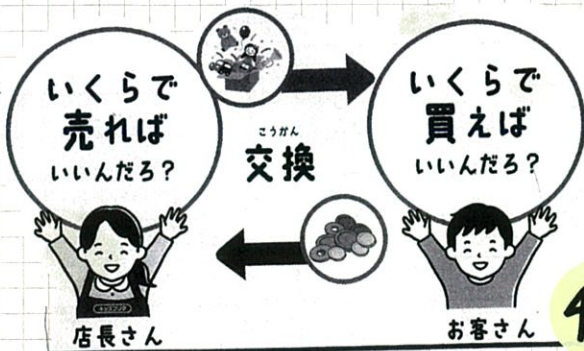


キッズフリマの「フリマ」は、ただしくは、「フリーマーケット」とよびます。日本語では「のみの市」と訳され「古いもの売る市場」という意味です。フリマはリユース(Reuse)の取り組みのひとつです。一度使ったものをごみにしないで何度も使うことで、ごみの処理の量を減らすことができます。

分では使わないものを、必要なく買ってもらう、というのは、ゴミの



量を減らすことにもなっている石二鳥だと感じました。そこで実際にフリーマーケットにお店屋さんとして参加してみました。[左写真]



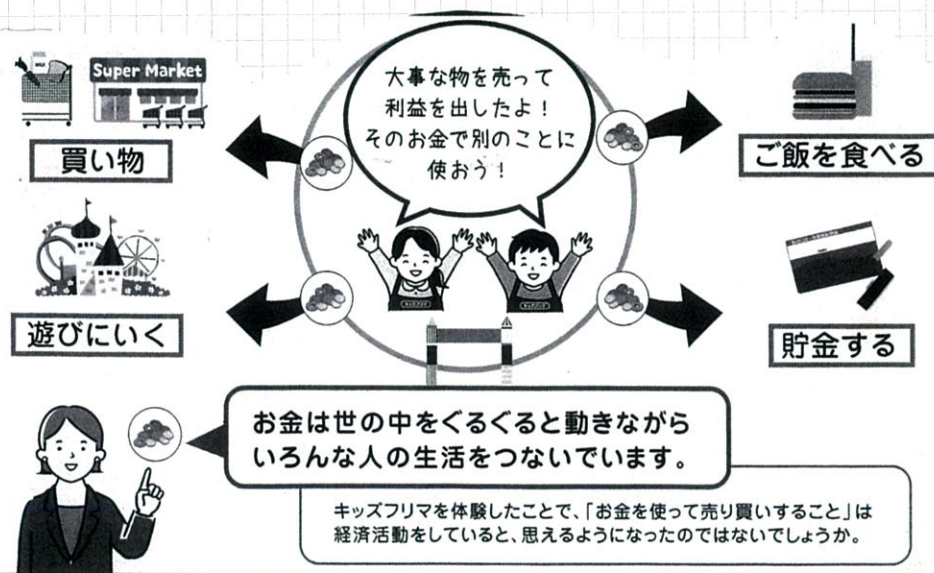
売った側もありがとう、買った側もありがとう、と思える金額が良い「値段」です。

[感想]

- ・初めて参加したのでとてもきんちょうした。
- ・値札を見たり、金客員を考えたり、準備が大変だった。
- ・当日のレイアウトを考えるのが難しかった。
- ・お客さんに買ってもらうよう、声をかけたり並べかえたりして、実際に買ってもらうとうれしかった。
- ・他のお店の商品が気になって色々買ってしまい、4月入よりも出ていくお金の方が結果的に多くなってしまった。



参加してとても楽しかったし、もまたチャンスがあればぜひ参加したいと思います。また、お金をかせぐ難しさも学びました。手持ちのものをどう活用すればおこづかいを増やせるか、自分なりの方法を見つけていきたいです。



キッズフリマを体験したことで、「お金を使って売り買いすること」は経済活動をしていると、思えるようになったのではないのでしょうか。

8. 参考にしたもの

■書籍

- ・毎日ムック 月刊Newsがわかる特別編 渋沢栄一がわかる / 毎日新聞出版
- ・日本を創った男～渋沢栄一 青き日々～ / 秋田書店
- ・学習まんが人物館 渋沢栄一 / 小学館
- ・日本の紙幣と硬貨の歴史 / 英和出版社
- ・お札に登場した偉人たち21人 / あすなろ書房
- ・お札の星のアドベンチャー！楽しく学んでマスターしよう！ / 国立印刷局
- ・現代語訳 論語と算盤 / ちくま新書

□新聞

- ・読売KODOMO新聞
- ・埼玉新聞
- ・朝日新聞

■インターネット

- ・似顔絵アプリPhoto Director
- ・貨幣史年表 ～日本の貨幣 そのあゆみ～

https://www.bk.mufg.jp/currency_museum/exhibit/japan/index.html

- ・日本銀行について

<https://www.boj.or.jp/about/education/arekore1.htm>

- ・彩の国 埼玉

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0314/shibusawa-saitama/top.html>

- ・板橋区 デジタルブック

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bunka/kanko/map/1052596.html>

□行ったところ

東板橋図書館、板橋区仲宿商店街、埼玉県のおじいちゃんおばあちゃんのお家
飛鳥山公園旧渋沢庭園、国立印刷局東京工場、旧渋沢邸「中の家」
渋沢栄一記念館、渋沢栄一スタンプラリー各所[資料ファイル：①]
キッズフリマ、埼玉県立浦和商業高校